

2017年4月2日～2022年1月31日の間に

当院において維持透析の治療を受けられた方へ

- 「岡山県の透析患者数と分布の推移に関する調査」へご協力をお願い-

研究機関名：岡山済生会総合病院、岡山済生会総合病院附属外来センター

研究責任者：センター長 平松 信

研究主管機関：岡山大学病院

研究責任者：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 CKD・CVD 地域連携包活医療学講座
准教授 内田 治仁

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

現在日本全国には、慢性腎臓病（CKD）患者が約1300万人いることがわかり、CKDは新たな国民病のひとつとなりました。CKDが進行すると腎不全という状況になり、透析治療や腎移植といった大変な治療が必要になります。そのため岡山県では2008年からCKDの発症・悪化予防のため、そしてひいては透析患者数を減らすために、さまざまな対策事業が行われてきました。これらの対策事業開始後5年以上たちますが、それでは実際の程度岡山県内の透析患者数を減少させたかどうかについては、具体的な数値で評価することができていませんでした。

そこでこのたび、岡山大学にて以下の調査研究を計画されました。調査対象は、岡山県下すべての市町村の透析施設における維持透析患者で、2017年以降2022年までの各年度における市町村別・県全体の維持透析患者数を調査し年別に比較することで、岡山県下における年別・地域別の維持透析患者数と分布の経年推移を明らかにすることを目的としています。

当院はこの研究に賛同し、協力します。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

今回の調査研究により、岡山県のCKD・CVD対策による透析患者数減少効果を明らかにすることができます。また、透析患者数の増減数から岡山県の医療費削減にどれほど寄与したのか明らかにすることができます。さらに、今回の結果を受けて、今後のCKD対策に対する新たな課題を明らかにすることができます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2017年4月1日から2022年1月31日までの間に、当院を含む岡山県下すべての市町村の透析施設において維持透析を行う患者約5000名を研究対象とします。

2) 研究期間

岡山済生会総合病院倫理審査委員会承認日（2018年6月中旬予定）から2022年3月31日

3) 研究方法

上記研究対象者に対して、透析患者数およびその属性を年度別に集計し、岡山県全体の年別の新規透析導入患者（※1）数およびその増減、岡山県全体の年別の維持透析患者（※2）数およびその増減、さらにこれらを年齢、性別、原疾患、透析の種類、市町村、および保険者別に年度別の層別集計を行います。

※1：新規透析導入患者とは前年4月2日以降、各年4月1日までに新規に透析導入となった患者。

※2：維持透析患者とは前年4月1日を含みそれ以前から透析導入となった患者。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、岡山県下のすべての維持透析患者における以下の項目について、岡山県医師会透析医部会に回答を依頼しそのデータを本研究に使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

各年4月1日時点における維持透析患者以下の情報の増減

1. 新規透析導入患者（導入時）

年齢、性別、原疾患、透析の種類、患者住所の郵便番号、保険者

2. 維持透析患者（更新）

各患者の年齢、性別、原疾患、透析の種類、患者住所の郵便番号、保険者

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後年間、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 CKD・CVD 地域連携包括医療学講座で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますのでお申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますのでご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

岡山済生会総合病院附属外来センター

氏名：平松 信

電話：086-252-2211 (病院大代表)